

## 令和3年度講座のご案内

令和3年8月13日

令和3年度の講座開催については、7月後半の講座においてその概要説明をして、皆さんの意向調査をさせていただきました。その結果をもとに7月28日に理事会を開催して令和3年度の講座開催について基本方針を決定しました。8月前半の講座において理事会で決まった基本方針を説明させていただいたところですが、改めて令和3年度の講座のご案内を差し上げます。

なお、理事会の[議案集](#)および[議事録](#)についてはそれぞれの文字をクリックしてください。

### 1. 令和3年度の講座開催について

令和2年度の講座は、香芝教室基礎科、檀原・宇陀・香芝教室応用科、檀原・宇陀教室研修科および相談サロンの7講座に102名の方のご参加を頂いて開催しているところです。そして、皆さんの意向調査をさせて頂いたところ94名の方から引き続き受講を希望されました。

令和3年度の講座内容は、これまでの応用科のテキストを見直して、基礎科修了レベルの方が今一度パソコンを学ぶ時に必要なテキストとして、また本会最後のテキストとして、編集しました。テキストの章構成については、[ここをクリックして確認して下さい](#)。

令和3年度の講座は、何れの講座も同じテキストで同じ内容であり、教室ごとの再編成も検討したところですが、現在の講座は講師と皆さんとは強い信頼関係で結ばれており、また、講師が皆さんの理解レベルを勘案して様々な工夫をしており、特徴のある講座を開催しています。

そこで令和3年度の講座は、講座名を変更のみを行い、講座開催日・ミーティングID等の変更は行わず、同じ講師の元令和2年度と同じ講座運営を行います。

なお、ミーティングIDの講座名は一度令和2年度の受講講座名を使用して頂くと次回から自動的に変わります。

令和3年度の講座名は次の通りです。

- ✚ 檀原教室応用科 ⇒ 檀原教室研修科1
- ✚ 檀原教室研修科 ⇒ 檀原教室研修科2
- ✚ 宇陀教室応用科 ⇒ 宇陀教室研修科1
- ✚ 宇陀教室研修科 ⇒ 宇陀教室研修科2
- ✚ 香芝教室基礎科 ⇒ 香芝教室応用科
- ✚ 香芝教室応用科 ⇒ 香芝教室研修科
- ✚ 相談サロン ⇒ 相談サロン

### 2. 令和3年度講座日程表

講座ごとの日程表は、講座名をクリックして確認してください。

講座全体の年間講座予定表はすでにホームページに掲載しているところですが、[ここをクリックしてください](#)。年間講座予定表を見ていただくとよく分かりますが、檀原教室研修科2と香芝教室及び相談サロンの開催日は暦の関係で一部基本日程と異なりますから注意が必要です。

- ✚ [檀原教室研修科1](#)
- ✚ [檀原教室研修科2](#)
- ✚ [宇陀教室研修科1](#)
- ✚ [宇陀教室研修科2](#)
- ✚ [香芝教室応用科](#)
- ✚ [香芝教室研修科](#)
- ✚ [相 談 サ ロ ン](#)

### 3. 講座開始準備について

講座開催準備として下記の日の朝に教室に来ていただき、紙のテキストの配布、テキストのインストール、年会費(2万円)の徴収等をさせていただきます。午後は第1回目の講座「Windowsの基本操作 パソコンを学ぶこととは」を教室ごと合同開催します。

なお、教室に来ていただく時刻については、9時20分をスタートに20分ごとに5名から6名の方を指名します。メールで指定された時刻にお越しください。

- ✚ 檀原教室研修科1 ⇒ 9月8日(水曜日)
- ✚ 檀原教室研修科2 ⇒ 9月8日(水曜日)
- ✚ 宇陀教室研修科1 ⇒ 9月10日(金曜日)
- ✚ 宇陀教室研修科2 ⇒ 9月10日(金曜日)
- ✚ 香芝教室応用科 ⇒ 9月6日(月曜日)
- ✚ 香芝教室研修科 ⇒ 9月6日(月曜日)
- ✚ 相 談 サ ロ ン ⇒ 9月8日(水曜日)

### 4. コロナ過に対する基本的な考え方

現在第5波として新型コロナは猛威を振るっておりいつ終息するか見えないところであり、令和3年度以降の講座開催についてもコロナ過に左右されるところです。

令和3年度は上記の通りですが、令和4年以降については、毎年8月に皆さんに意向調査をして、講座ごと受講希望者が5名以下になるまで、同じ講座を毎年繰り返し開催します。そして、5名以下になった講座の受講生希望者は相談サロンを受講して頂きます。

本会は、最終的に相談サロンの受講生が5名以下になって活動を終えます。

コロナ禍に対する本会の基本的な考え方は次の通りです。

- ① 対面の教室開催は、コロナ禍が終息して各会場の使用方法がコロナ禍以前と同じ条件になって初めて検討します。具体的には3密の解除であり、マスクを必要とせず、着席に対する条件がなくなった時です。
- ② 各教室の開催方法については毎年度の応募者数により次の通りとします。
  - ✚ 1名から5名 ⇒ 開催を見送り、応募者には相談サロンの参加を推奨する
  - ✚ 6名から10名 ⇒ 仮にコロナ禍が終息して教室開催の条件が整っても「オンライン講座」とする
  - ✚ 11名以上 ⇒ 教室開催が可能であれば教室開催とする。